

# 高山本線 全線開通80周年

[昭和9年(1934)10月25日~]

## ありがとう ~いままでも、そしてこれからも~

各駅の数字は平成25年の乗車人数  
(資料:JR東海)



11,762人

飛驒一ノ宮駅



37,157人

久々野駅

渚 駅

2,805人



ひだ桃源郷  
くぐの観光協会  
もりもと つねお  
森本 常夫 さん

久々野駅は標高676m。高山本線で一番標高が高い駅です。その駅の敷地内に私の勤務する観光協会の事務所があります。駅を利用される皆様との会話など、私の仕事と高山本線は密接なかかわりを持っています。

かつて、夏は御嶽山・乗鞍岳登山の拠点として、冬は舟山高原スキー場の最寄駅として大変なぎわいを見せました。

現在は駅舎が立て替えられ、かつてのおもむきはありませんが、ボランティアの皆様が駅前の公衆トイレを毎日清掃し、春と秋は駅構内の草刈り作業を行うなど、地域ぐるみで駅周辺の環境が守られている姿は昔から変わりません。



通学で飛驒国府~高山間を利用する  
あかばね ちあき  
赤羽根 知明 さん

小さいころから高山本線を行き交う列車を眺めて育ったので、列車に乗って高山の高校へ通うのは憧れでした。今では通学や高山の友人と会うためなど日々利用しており、私にとっての高山本線は欠かせない存在です。

飛驒国府~上枝間の宮川に架かる鉄橋からの眺めは、車窓から見える印象的な景色の一つです。

- 資料
- 高山本線全通高山駅開業60年のあゆみ
- 宮村のあゆみ

平成26年(2014)10月  
高山本線全線開通80周年。ラッピング臨時列車が運行

平成17年(2005)2月  
新高山市誕生

平成16年(2004)10月  
台風23号により甚大な被害発生(3年後に復旧)

平成6年(1994)12月  
高山本線全線開通60周年を記念してSL列車運行

平成元年(1989)2月  
特急「ワイドビューひだ号」登場。名古屋~高山間を最速2時間9分で運転

昭和56年(1981)1月  
測候所開設以来の豪雪

昭和43年(1968)10月  
特急「ひだ号」運転開始。名古屋~高山~金沢間を結ぶ



ラッピング臨時列車



記念SL列車



56豪雪のラッセル車



特急「ひだ号」の発車式